

妊娠初期の女性が
風しんにかかると、
生まれてくる赤ちゃんが

「先天性風しん症候群」になる確率

妊娠1ヵ月で
50%以上^{*}

この数字は、免疫のない女性が妊娠初期に風しんウイルスに感染した結果、病気を持った赤ちゃんが生まれる確率です。耳が聞こえにくくなる、目が見えにくくなる、心臓に病気がある、発達がゆっくりしている。これら『先天性風しん症候群』は、妊娠「前」の予防接種で防ぐことができます。未来の赤ちゃんのために、まずは風しんの抗体検査を。

*母親が感染した母親集団の先天性風しん症候群の発生確率は、妊娠1ヵ月で50%以上、2ヵ月で35%、3ヵ月で18%、6ヵ月で8%程度である。出典元：国立感染症研究所

妊娠を希望する女性、妊婦の配偶者・ご家族は

風しんの予防接種をご検討ください。
予防接種が必要かどうかは抗体価検査でわかります。

ポイント 1 近年の風しんは成人に多く見られ、平成25年には20代から40代の年齢層で男性を中心に風しんが流行しました。

ポイント 2 特に昭和54年4月2日～平成2年3月31日生まれの男女は接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種のチャンスがありませんでした。

ポイント 3 風しんの予防接種は、はしか(麻しん)も一緒に予防できる麻しん風しん混合(MR)ワクチンで受けることをお奨めします。

鳥取県では、
生まれてくる子どもを「先天性風しん症候群」から守るため、

- ・風しん抗体価検査の無料実施
- ・風しんワクチン接種費用の助成 を行っています。

詳しくは、裏面をご覧ください →

<令和7年度事業>

風しん抗体価検査の無料実施と 風しんワクチン接種費用の助成をしています！

～令和4年度に県が実施した検査受検者のうち約5割のかたが、風しんの免疫が不十分という結果でした～
生まれてくる子どもを「先天性風しん症候群」から守るために、保健所と受託医療機関で、
風しんの抗体価検査(免疫があるかどうかを調べる検査)を無料実施しています。
また、市町村では風しんワクチン接種費用を助成しています。

対象者

① 風しん抗体価検査の無料実施

- ・妊娠を希望する女性
- ・妊娠を希望する女性の配偶者(内縁を含む)などの同居者
- ・風しん抗体価の低い妊婦の配偶者などの同居者



※過去に風しん抗体価検査を受けた結果、十分な量の抗体があることが判明したかたは有料となります

② 風しんワクチン接種費用の助成

- ・妊娠を希望する女性で風しん抗体価の低いかた
- ・妊婦の配偶者(内縁を含む)
- ・妊婦の同居者
- ・妊娠を希望する女性(風しん抗体価の低いかた)の同居者(風しん抗体価の低いかた)



※定期接種の対象の方は、本助成の対象外となります。

※昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性で令和6年度末までに抗体価検査を受けられた方は、定期接種として無料で受けられる場合があります。

★助成対象や助成金額は市町村によって異なります。

詳しくはお住まいの市町村の予防接種担当課へお問い合わせください。

■抗体価検査を受けられる医療機関と検査申込書は、
とりネットに掲載しています →



【抗体価検査のお申込み先・お問合せ先】

鳥取市保健所	☎ 0857-30-8533 / ファクシミリ 0857-20-3962
中部総合事務所倉吉保健所	☎ 0858-23-3145 / ファクシミリ 0858-23-4803
西部総合事務所米子保健所	☎ 0859-31-9317 / ファクシミリ 0859-34-1392

【ワクチン接種費用助成に関するお問合せ先】

お住まいの市町村の予防接種担当課にお問い合わせください。



【その他事業全般に関するお問合せ先】

鳥取県福祉保健部感染症対策センター ☎0857-26-7857 / ファクシミリ 0857-26-8143